

- 1 日時：令和3年7月3日（土） 14：00～16：10
- 2 場所：ZOOMによるリモート会議
- 3 リモート出席：(常)笠原勉、(常)綿貫啓、(常)平野滋、(常)永井和典、(常)庄司大介、(常)桜井裕一、(常)今村均、(常)久一博世、太田芳雄、星崎紀一、吉田倫夫、(常)齋藤寛(記録)
(常任幹事10名中9名出席、幹事3名出席)
委任：畑恭子、中島輝正（幹事2名委任）

4 打ち合わせ内容

① 令和3年度総会について（Web総会）

- ・良かった点：①シナリオでスムーズに進めることができた。②全国水産技術協会会議室で運営メンバーが集まって円滑に運営できた。③事前の予行演習でトラブル回避できた。④新役員のコメントが良かった。⑤懇親会で本音のコメントが聞けた。
- ・反省点：①リモートで参加者全員の顔を見渡すことができなかった。②申し込みがあったが当日欠席された会員があり、直前の声かけが必要だった。③一部音声の聞き取りにくい参加者があった（事前のマイクテストが必要）。
- ・来年は、会場で集まり、リモートとの併用で開催したい。そのための準備（機材など）が必要。
- ・総会開催報告への参加者のZoom画像（写真）掲載について、会員に掲載する旨メールで確認する。

② 総会結果を受けた活動について

- ・総会開催報告は写真画像掲載の確認後、会員名簿公開の居住地を都道府県名までとするかどうかの確認文を添えて会員に配信。その返信を待って公開用名簿を作成する。並行して教職員名簿を作成する。

③ 本年度の活動内容について

- ・本会の活動について再整理。①本会の現状：幅広い学部学科出身者が在籍、女性会員が少ない、全国30都道府県に会員が広がり地方展開可能、部門別では建設が多いが幅広い分野の人材がいる、建設コンサルタント在籍者が多い。②大学学部編成の変更：全体定員は90名増、工学系定員は230名減。③技術士資格取得（第一次試験）：大学別で本学は18位だが合格率が最低（全体平均36.1%、本学15.6%）、主要大学はJABEE認証取得率が高いが、本学は2部門（材料、機械）のみで撤退の動き。④各幹事からの提案：「大学への技術士第一次試験関連図書等の贈呈」、「東海大学新聞への（技術士資格、本会活動など）投稿」、「会社説明会での（技術士資格、本会活動など）PR」、「大学に対しJABEE認証取得分野拡大の提案」。

④ 学生へのリモート講義準備について

- ・湘南キャンパス対応（土木工学科・建築学科）は原則昨年メンバーとし可能であれば交代を検討する。清水キャンパス対応は今後メンバー、方法など検討する。札幌キャンパス対応は11月に3年生・4年生を対象に講演実施の要請があった。実施方法、講師の編成など対応は今後検討する。

⑤ リモート講演会準備について

- ・各役員のおすすめで候補者をリストアップする。

⑥ その他

- ・「大学への技術士第一次試験関連図書等の贈呈」：19号館土木・建築の閲覧スペースに配置する方向で検討。リモート講義で図書を紹介し贈呈する提案あり。
- ・我々の狙いは学生への技術士資格の周知と在学中の第一次試験受験誘導であり図書等の贈呈が効果的かどうか検討が必要との意見あり。土木・建築への図書贈呈と一度やってみることとする。結果を見てさらに判断する。
- ・「東海大学新聞への投稿」：技術士資格の周知、本会の活動内容のPRを目的に、編集者と相談する必要がある。
- ・寄付金：今日現在で109,000円（12名）となっている。
- ・東海大学研究系クラウドファンディング：本会会員へのPRを行う。

- 5 次回役員会 令和3年7月24日（土）14：00～ Zoomによるリモート開催とする。